

柳常八と本多静六(二)

数十キロも離れた所に住む初代柳常八と本多静六を、宮本常一らの報告書では「幼な友達」としていましたが、どのように知り合ったのでしょうか。親同士の付き合いが考えられますが、断定できる資料はありませんでした。

しかし、静六の祖父・折原友右衛門と常八の父・宗四郎が「講」を通じて結びつく可能性が、埼玉県鳩ヶ谷市にあることが分かりました。

鳩ヶ谷出身の小谷三志(1765~1841)は、若い時から富士講に傾倒しつつも改革を試み、教理を体系化して日常生活の中での実践運動を展開。後に数万人の弟子を持つ「不二道」という独自の思想を創りあげ、篤農家・二宮金次郎(1787~1856)の「報徳思想」の形成にも大きな影響を与えます。

小谷は没するまで精力的に下総、常陸を回って教を説き、講の維持・拡大に心血を注ぎ、弟子たちがいた野田町をはじめ中里や阿部、清水、木間ヶ瀬などを幾度も訪ねていました。

折原は、小谷の高弟のひとり「晩年」不二道孝心講の大先達にもなりました。師亡き後も静六を連れ、弟子宅で教を説いて回り、静六は自伝で「農閑期になると弟子たちのところを回り、信心の話をして歩く。私も十三にもなると折々連れて行かれた」と書いています。

小谷研究の第一人者、鳩ヶ谷市文化財保護委員会委員の岡田博氏は逆に「折原の住む川原井村(現在の菫蒲町)を訪ねたことも考えられます。『不二道』は一家をあげて『諸信心』を大切にしたことから、子どもが祖父の後をついて行く例は多かったでしょう」と推察します。

折原が中里を訪ねたことや、宗四郎が不二講に傾倒していたことを示す資料は確認されていませんが、遠く離れた常八と静六の「出会い」が、ここにあったのかもしれない。

その後、初代常八は、明治35(1902)年ごろに本多の紹介で、日本全国に苗木の販売

網を持つ会社とも関わって販路を広げ、明治44(1911)年には年間60万本の苗木を販売するまでになりました。

二代目は、初代亡き後も家業のこともよく本多のところへ相談に行き、事業をさらに拡大。太平洋戦争前は、中国に3万坪の苗圃を持ち、定住するまでになつたと報告書にあります。

しかし、戦後は帰国し、再び苗木販売に専念しますが、苗木はすでに全国的にも生産され、各県の自給調整の強化も加わり減少傾向となり、明治期のような需要はありませんでした。

次号からは、宮本常一が歩いた半世紀前の川間の様子を、日記と写真を基にご紹介します。

※文中敬称略(次号へつづく)

【参考資料】「小谷三志日記に見る野田市の不二道」石田年子／「本多静六自伝 体験八十五年」本多静六(実業之日本社)

【取材協力】渋谷克美氏、鳩ヶ谷市立郷土資料館



4月の休日当番医

休日当番医での診療時間
 外科・産婦人科 = 9時~22時 (ただし16時~19時は除く)
 内科 = 9時~16時 (19時~22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
6日(日)	キッコーマン総合病院 (☎7123-5911)	野田南部診療所 (☎7121-0171)	杉崎クリニック (☎7125-1070)
13日(日)	梅郷整形外科クリニック (☎7125-2011)	新村医院 (☎7138-2103)	川間太田産婦人科医院 (☎7127-1135)
20日(日)	門倉病院 (☎7124-5311)	小林医院 (☎7122-2835)	小張総合病院 (☎7124-6666)
27日(日)	山崎外科内科 (☎7122-2359)	丹保医院 (☎7129-3557)	遠藤産婦人科医院 (☎7124-7860)
29日(火)	西村クリニック (☎7123-0050)	小澤医院 (☎7122-3980)	杉崎クリニック (☎7125-1070)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド (☎7124-7272 : コード6101)、または野田市ホームページ (<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>) で確認をしてください。

急病センター


☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時~22時(毎日)
 ▼歯科診療 = 9時~12時(休日)

▼いよいよ、見直しされた「野田市総合計画」の後期基本計画がスタートしました。今後は新しい計画に基づき、まちづくりを進めていきます▼市報では、野田市の新しいまちづくりを、より分かりやすく、そして見やすくするため、今号からひと回り大きな文字を試行的に使っていきます。今回は12・13面で使用しました▼もちろん、文字が大きくなた分、文字数は減りますが、情報量は減らないよう、創意工夫を凝らしていきます。皆様からのご意見をお待ちしています (と)


編集後記

市の木




けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり

人口と世帯(20.3.1現在) ●人口=156,022人(+174) 男=78,450人(+71) 女=77,572人(+103) ●世帯数=59,212世帯(+119) ●市の面積=103.54km²
 市報のだ 第1017号 平成20年4月1日号 / 発行=野田市(〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1・☎047125-1111) / 編集=企画財政部秘書広報課